

2012 年 4 月

ねぎ

Welsh Onion,
Japanese Bunching Onion
(*Allium fistulosum* L.)

ねぎ審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ユリ科 (Liliaceae) ねぎ属 (*Allium* L.) のたまねぎ種、たまねぎ種とねぎ種の種間交雑種 (*A. cepa* × *fistulosum* hybrids) 及びやぐらねぎ変種 (*A. fistulosum* var. *viviparum*) を除くねぎ種 (*A. fistulosum* L.) の全ての種子繁殖性及び栄養繁殖性の品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 苗又は種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 種子 1,000 粒
栄養繁殖性品種の場合 苗 200 個体

提出する種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 種子繁殖性品種の場合 200 個体
栄養繁殖性品種の場合 100 個体
2 反復又はそれ以上の反復に分割して栽培する。
- iii) 栽培期間 2 生育周期であるが、区別性及び均一性の結果が決定的な場合は 2 回目を省略することができる。
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期等 特に指示がない限り、調査は植物体が十分に生育した時期に行う。
偽茎が 2 本以上ある場合は、最大偽茎と最大偽茎の葉、最大花茎とその花を調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

供試個体数が 100 の場合、許容される異型個体数は 3 である。

自然受粉品種及び交雑品種の均一性は、一般基準第 4 (3) を適用する。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 草型 (形質 1)
- ii) 偽茎の数 (株立ち型品種に限る。) (形質 2)
- iii) 草高 (形質 3)
- iv) 葉の太さ (形質 10)
- v) 偽茎の長さ (形質 22)
- vi) 偽茎の太さ (形質 24)
- v) 偽茎のアントシアニン着色の有無 (形質 25)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIIIに特性表の説明図等を示す

生育タイプ別標準品種

(B) : 根深ねぎ (Blanched bunching onion)

(L) : 葉ねぎ (Leaf bunching onion)

網掛け (特性表のピンク色の部分) : 願書に添付する説明書 (種苗法施行規則第7条、別記様式第2号) に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に

使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristic)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL (*) G	草型	Plant: growth type	十分発達した株を 構成する偽茎の立 ち方	観察	1 2	一本立ち型 株立ち型	single pseudostem multi-pseudostem	下仁田(B) さとの香(L)	
2	2	QN (*) G	偽茎の数 (株立ち 型品種に限る。)	<u>For multi-pseudo stem varieties only:</u> Plant: number of pseudostems	偽茎 (葉しょう) 基 部で分離し、目視で 確認できる偽茎の 数	観察	1 3 5 7 9	極少 少 中 多 極多	very few few medium many	石倉(B), 九条太(L) 深谷(B) 晩葱(B), 九条浅黄系(L) 晩葱細系(B)	
3	3	QN (*) (+) G	草高	Plant: height	発根基部から最高 部までの高さ (葉折 れは伸ばして測定)	測定 cm	3 5 7	低 中 高	short medium tall	黒昇(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B), 九条太(L) 深谷(B)	
4	4	QN (*)	一偽茎当たりの 葉の数	Plant: number of leaves per pseudostem	最長偽茎に着生す る葉身の数	観察	3 5 7	少 中 多	few medium many	深谷(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B), 奴(L) 黒昇(B)	
5	5	QN (*)	葉の向き	Foliage: attitude	葉身の伸びる方向	観察	1 3 5	直立 斜上 水平	erect semi-erect horizontal	深谷(B), 九条太(L) 石倉(B) 下仁田(B)	
6	6	QN	葉のろう質の多 少	Foliage: waxiness	葉の表面を覆うろ う質の多少	観察	3 5 7	少 中 多	weak medium strong	深谷(B), 奴(L) 石倉(B), 九条太(L) 下仁田(B)	
7	7	PQ (*)	葉の緑色の色相	Foliage: hue of green color	葉身の緑色が帯び る色合い。帯びない ものを緑とする。	観察	1 2 3	緑 帯黄 帯青	absent yellowish bluish	石倉(B), 九条太(L) 深谷(B), 九条浅黄系(L)	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QN	葉の緑色の濃淡 (葉が緑色の品 種に限る。)	<u>Only for varieties with additional hue absent:</u> Foliage: intensity of green color	葉身の緑色の濃淡	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	伯州(B) 石倉(B), 九条太(L) 黒昇(B)	
9	9	QN (*)	葉の長さ	Leaf: length	最長葉身の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	黒昇(B), 九条浅黄系(L) 深谷(B), 九条太(L) 晩葱(B)	
10	10	QN (*) G	葉の太さ	Leaf: diameter	最長葉身の最も太 い部分の直径	測定 mm	3 5 7	細 中 太	small medium large	晩葱(B) 石倉(B), 九条浅黄系(L) 下仁田(B), 九条太(L)	
11	11	QN	葉の反りの強弱	Leaf: curvature	十分伸長し、最も反 った葉身の反りの 程度	観察	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	深谷(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B) 下仁田(B)	
12		QN (+)	葉の基部の着生 角度	Leaf : angle of base	葉身基部の偽茎に 対する着生角度	観察	3 5 7	鋭 中 鈍	acute medium obtuse	千住黒柄(B) 九条浅黄系(L) 下仁田(B)	
13		PQ (+)	葉の先端部の形	Leaf: shape of apex	葉身先端の形状	観察	1 2 3	鋭 中 鈍	acute medium obtuse	晩葱(B), 九条浅黄系(L) 黒昇(B) 下仁田(B)	
14		QN	葉折れの多少	Leaf: leaf turning	葉折れの発生程度、 多少	観察	3 5 7	少 中 多	few medium many	黒昇(B) 松本一本太(B), 九条浅 黄系(L)	
15		QN (+)	葉の分岐間隔の 長さ	Leaf : interval length of branching	葉身分岐部の間隔 の長さ	観察	3 5 7	短 中 長	short medium long	下仁田(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B), 奴(L) 深谷(B)	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16		QN	葉の基部のしまり	Leaf : firmness of base	葉身分岐部のしまりの程度	観察	3 5 7	緩い 中 固い	loose medium coarse	深谷(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B) 黒昇(B)	
17		PQ (+)	葉の基部の横断面の形	Leaf : shape of cross section at base	葉身の分岐部中央の横断面の形	観察	3 5 7	近円 楕円 長楕円	circular elliptic oblong	黒昇(B) 晩葱(B), 九条浅黄系(L)	
18		QN (+)	葉しょうの合わせり角度	Leaf sheath: angle of margin	葉しょう周縁の偽茎と合わせり角度	観察	1 2 3	鋭 中 鈍	acute medium obtuse	深谷(B), 奴(L) 石倉(B), 九条浅黄系(L) 黒昇(B)	
19		QN	葉しょうのしまり	Leaf sheath: firmness	葉しょう中央部のしまり	観察	3 5 7	緩い 中 固い	loose medium coarse	深谷(B) 石倉(B), 九条浅黄系(L) 黒昇(B)	
20		QN	葉しょうの光沢の強弱	Leaf sheath: glossiness	葉しょう中央部の光沢の程度(最外皮の葉しょうを剥いて判定)	観察	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	下仁田(B) 石倉(B) 黒昇(B), 九条浅黄系(L)	
21		PQ (+)	偽茎の分けつのタイプ	Pseudostem: type of tillering	偽茎(葉しょう)基部の分けつのタイプ	観察	1 2 3	未分離 中間 分離	unseparated intermediate separated	晩葱(B) 石倉(B), 九条浅黄系(L) 西田(B), 氷川(B)	
22	12	QN (*) (+) G	偽茎の長さ	Pseudostem: length	最長偽茎(葉しょう部)の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	下仁田(B) 黒昇(B), 九条浅黄系(L) 深谷(B)	
23	13	QN (+)	偽茎の軟白部の長さ	Pseudostem: length of blanched column	最長偽茎(葉しょう部)の軟白部の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	下仁田(B) 黒昇(B)	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	14	QN (*) (+) G	偽茎の太さ	Pseudostem: diameter	偽茎（葉しょう部） の中央部の径	測定 mm	3 5 7	細 中 太	small medium large	晩葱(B) 黒昇(B), 九条浅黄系(L) 下仁田(B), 九条太(L)	
25	15	QL (*) G	偽茎のアントシアニン着色の有無	Pseudostem: anthocyanin coloration	偽茎（葉しょう部） 外面のアントシアニン着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present	黒昇(B), 九条浅黄系(L) 赤葱(B)	
26	16	QN (*)	偽茎のふくらみの強弱	Pseudostem: bulbing	偽茎基部の肥大の程度	観察	1 2 3	無又は極弱 弱 強	absent or very weak weak strong	石倉(B) 三州(B), 九条浅黄系(L)	
27		QN	夏期の葉先枯れの発生の多少	Plant: occurrence of leaf tip withering in summer	高温期の葉の先端部の枯れ込みの程度	観察	3 5 7	少 中 多	few medium many	深谷(B) 石倉(B), 九条浅黄系(L) 黒昇(B)	
28		QN	冬期の葉枯れの発生の多少	Plant: occurrence of leaf withering in winter	低温期の葉の枯れ込みの程度、残葉の多少	観察	3 5 7	少 中 多	few medium many	黒昇(B), 奴(L) 石倉(B), 九条浅黄系(L) 深谷(B)	
29	17	QN (*)	抽だいの難易	Tendency to bolting	抽だい性の難易(難を弱、易を強とする。)	観察	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	坊主不知(B) 石倉(B), 九条太(L)	
30	18	QN (+)	抽だいた花茎の長さ	Bolting stem: scape length (in second year)	抽だいた株の最長花茎の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	下仁田(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B), 九条太(L) 深谷(B)	
31	19	QN	開花期	Time of flowering	開花の早晩	観察	3 5 7	早 中 晩	early medium late	深谷(B), 九条浅黄系(L) 石倉(B), 九条太(L) 黒昇(B)	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	20	QL	雄性不稔性	Male sterility	雄性不稔性の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

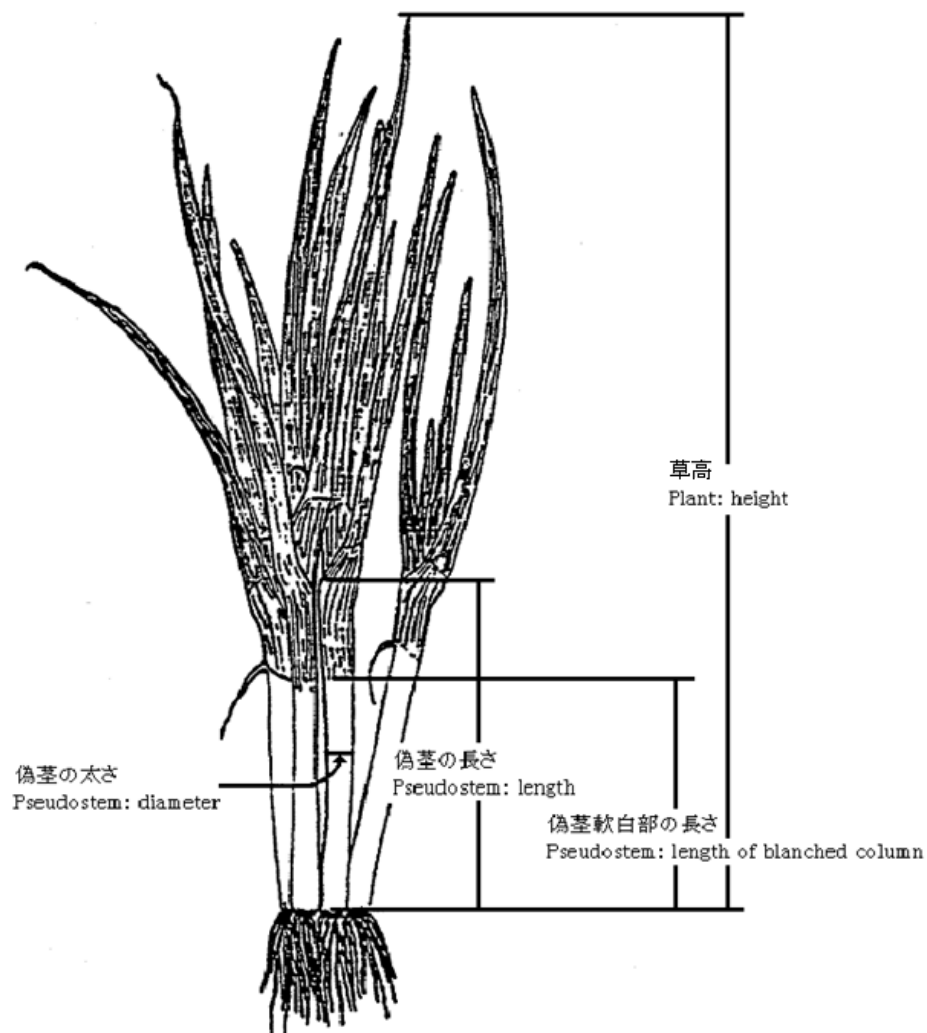
VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 3 草高 Char.3 Plant: height

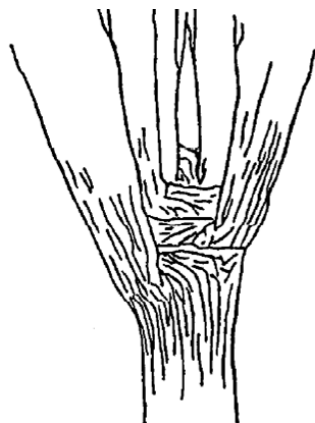
形質 22 偽茎の長さ Char.22 Pseudostem: length

形質 23 偽茎の軟白部の長さ Char.23 Pseudostem: length of blanched column

形質 24 偽茎の太さ Char.24 Pseudostem: diameter



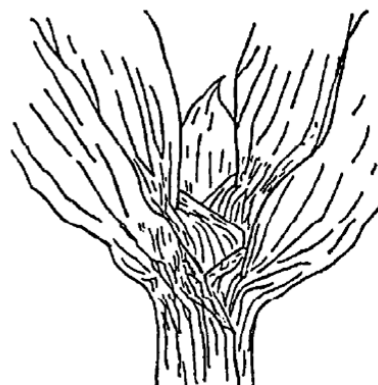
形質 12 葉の基部の着生角度 Char.12 Leaf: angle of base



3
鋭
acute



5
中
medium



7
鈍
obtuse

形質 13 葉の先端部の形

Char.13 Leaf: shape of apex



1
鋭
acute



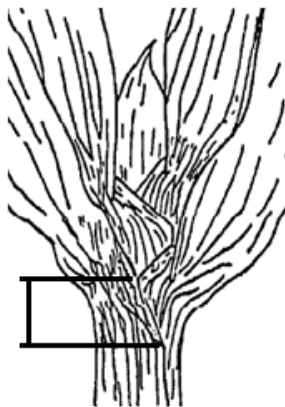
2
中
medium



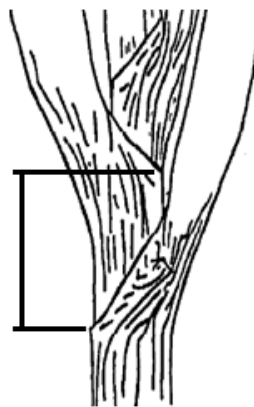
3
鈍
obtuse

形質 15 葉の分岐間隔の長さ

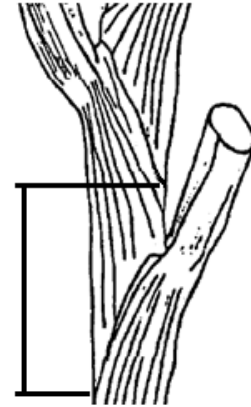
Char.15 Leaf: interval length of branching



3
短
short



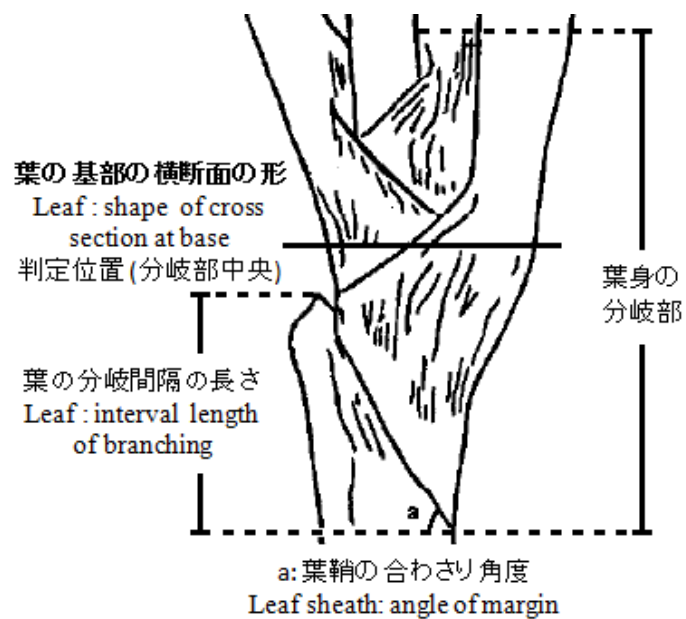
5
中
medium



7
長
long

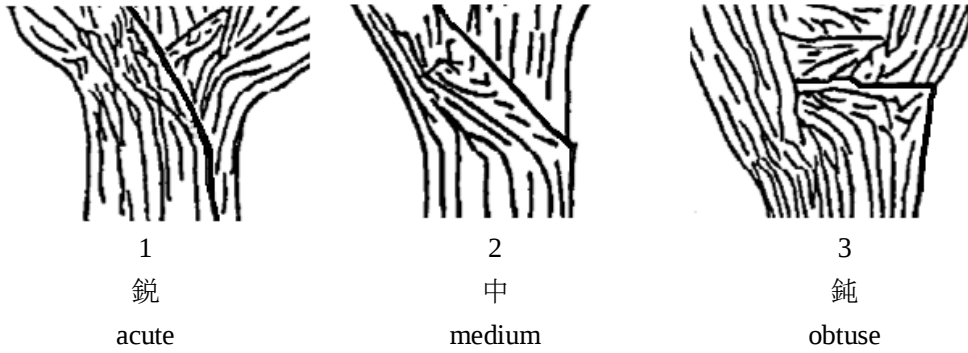
形質 17 葉の基部の横断面の形

Char.17 Leaf: shape of cross section



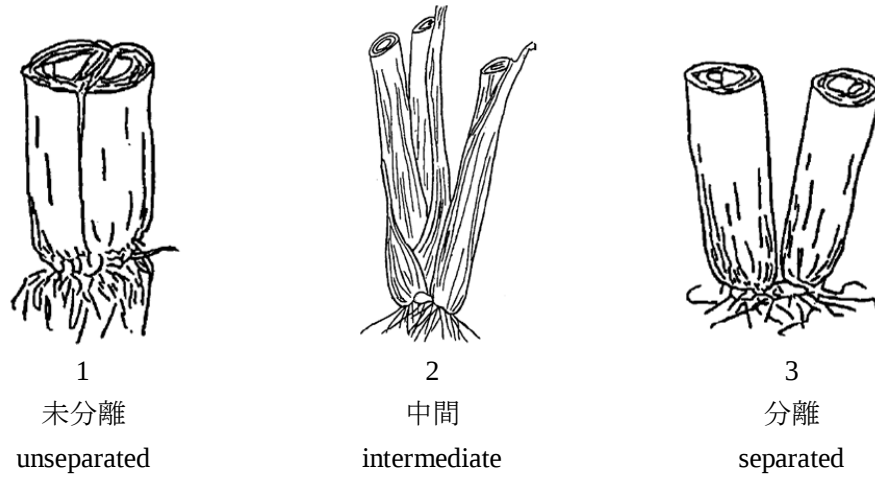
形質 18 葉しょうの合わせり角度

Char.18 Leaf sheath: angle of sheath margin



形質 21 偽茎の分けつのタイプ

Char.21 pseudostem: type of tillering



形質 30 抽だいたした花茎の長さ

Char.30 Bolting stem: scape length (in second year)

